

トラック運送業における
原価計算シート
利用要領

平成29年3月

公益社団法人全日本トラック協会

目 次

1. 原価計算シートの目的	1
2. 対象となる利用者.....	1
3. 原価計算シートの構成	2
4. 原価計算シートの利用方法.....	3
(1) 車両別原価計算シート	3
(2) 取引先別原価計算シート	9
(3) 運行ルート別の原価計算シート	10
5. 原価計算シートの活用方法.....	11

1. 原価計算シートの目的

この原価計算シートは、会員事業者の皆さんの原価計算への取組を支援することを目的に提供します。

各事業者の運送形態、契約形態、輸送品の特性、経営特性等を踏まえ、経営実態等に合った原価計算シートを作成し、活用していくことが望まれます。効率的に原価計算を実施し、効果的に原価計算結果を活用している事業者を調査したところ、自社独自の原価計算シートを作成しているケースが非常に多くを占めることが把握されています。

こうした背景を踏まえ、ここで提供する素材となる原価計算シート（エクセルファイル）を修正して、自社の経営特性に即した原価計算シートを作成していくことを前提に、原価計算シートの素材を提供します。

2. 対象となる利用者

原価計算シートの利用対象者は、平成 24~28 年度に全日本トラック協会と地方トラック協会が共催した「原価意識セミナー」の受講経験がある方で、現在原価計算を十分に実施していない事業者の皆様を想定しています。

会員事業者の皆様がこの原価計算シートを参考に、自由に修正し活用することを主眼としているため、原価計算ソフトとしての完成度は十分でない部分もございます。また、自社の経営実態に即した計算システムに修正して活用することが負担とを感じる事業者の皆様には、市販の原価計算ソフトの利用をお勧めいたします。

3. 原価計算シートの構成

この原価計算シートは、下記の2つのエクセルファイルにより構成されています。
2つのエクセルファイル間でデータはリンクしていません。

① 車両別原価計算シート

12 ヶ月にわたり、車両ごとの原価計算を行う計算シートです。
(シート間でデータがリンクしています)

② 取引先別・運行ルート別原価計算シート

・取引先別原価計算

荷主、元請等の取引先ごとに原価計算を行うシートです。

・運行ルート別原価計算

A地点からB地点など、運行ルートごとに原価計算を行い、1 運行当たりの損益を計算するシートです。

4. 原価計算シートの利用方法

(1) 車両別原価計算シート

- ・車両別の原価計算は、取引先別、運行ルート別の原価計算を行う前段階に実施します。

- ・エクセルシートにある「条件設定シート（その 1）、（その 2）」に必要なデータを入力します。車両データ、運行三費データ、保険料データなど、経理関係書類等から入力します。

- ・条件となる基礎データの入力が完了すると、「車両別 原価計算データ」に計算結果が出ます。

- ・条件設定シートの入力では、100 両分のデータまで入力できます。入力上の留意点を参考に数字を入力してください。なお、該当する数字がない場合には、「0」を入力してください。

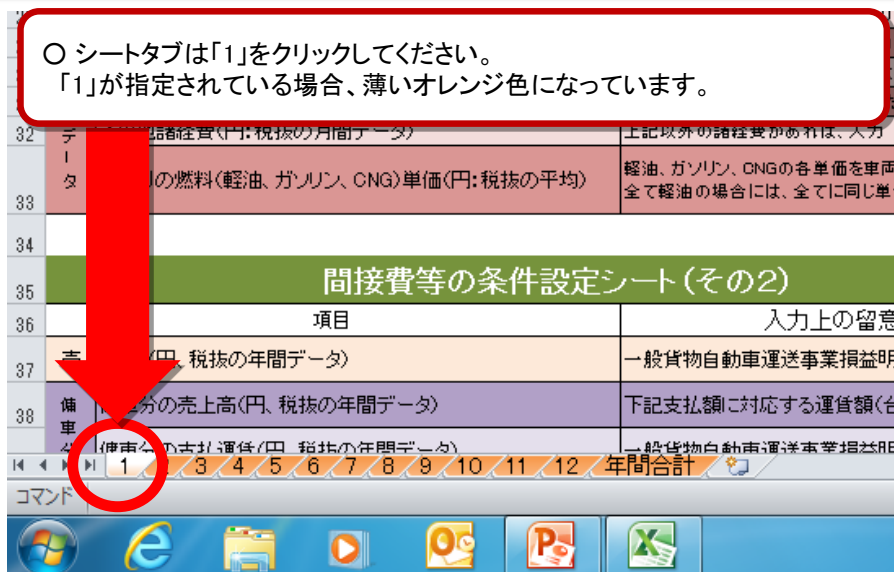
※この原価計算シートにおける一般管理費・人件費等の配賦計算はエクセルシートの計算式をご確認ください。こちらに記載している計算式は一例ですので、実態に合わせて計算式を変更してご利用ください。

・原価計算シートの利用にあたり、利用開始月を入力します。2か月目以降は自動的に計算されます。

利用開始する月を問わず入力する最初のシートは、ファイルの左下の「1」と記されたシートです。

原価計算シートのタブ「1」を指定します

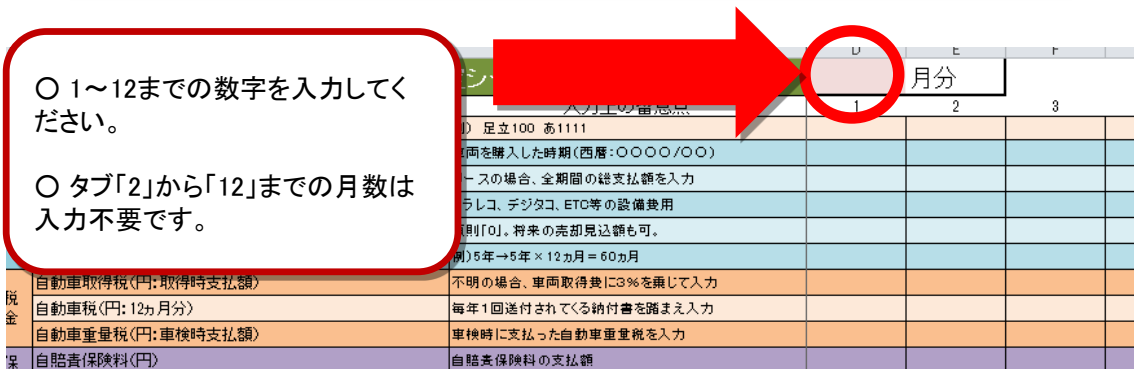
○ シートタブは「1」をクリックしてください。
「1」が指定されている場合、薄いオレンジ色になっています。



利用開始する「月」を入力します

○ 1~12までの数字を入力してください。

○ タブ「2」から「12」までの月数は入力不要です。



① 車両関係データの条件設定シート（その1）

車両関係データの条件設定シート（その1）では、車両に直接割り付けできる費用の入力をしてください。入力するデータは下記の2種類となります。

- ・毎月見直しをする必要がないデータ（車両費、税金、保険、運行三費）
「1」シートに入力すれば、次シート以降は数字がリンクしているので**入力是一次のみ（途中の変更は可能）**
- ・毎月更新するデータ（ピンク色の欄）：運行実績に応じて**毎月入力が必要**

車両関係データの条件設定シート(その1)			4月分			
項目	入力上の留意点		1	2	3	4
2	車両ナンバー	例) 足立100 あ1111				
4	購入時期、契約開始時期(年月)	車両を購入した時期(西暦:〇〇〇〇/〇〇)				
5	車両の調達価格(税抜:円)	リースの場合、全期間の総支払額を入力				
6	付属品等の費用(税抜:円)	ドラムブレーキ、ETC等の設備費用				
7	使用後の売却予定額(税抜:円)					
8	実際の利用予定期間(月)					
9	自動車取得税(円:取得時支払額)					
10	自動車税(円:12ヵ月分)					
11	自動車重量税(円:車検時支払額)					
12	自賠責保険料(円)	自賠責保険料の支払額				
13	支払期間(加入月数)	上記の有効期間				
14	燃費(km/l:平均値)	車両別の平均燃費で、過去1年の平均値				
15	オイル単価(円:税抜の平均単価)	オイルの1リットル当たりの単価				
16	1回当たりのオイル量(l:平均値)	オイル交換に必要なオイル量				
17	オイルの交換走行距離(km:平均値)	オイルを交換する目安となる平均走行距離				
18	オイル交換1回分の工賃(円:年間データ)	オイルを交換するための1回当りの工賃				
19	タイヤ1本当たり費用(円:税抜の平均値)	1本当たりの平均費用				
20	タイヤの必要本数(本)	必要なタイヤの本数				
21	タイヤ交換1回分の工賃(円:税抜の1回当りデータ)	タイヤ交換に必要な1回当りの工賃				
22	タイヤ交換する平均走行距離(km)	タイヤ交換する目安となる走行距離				
23	尿素水単価(円:税抜の平均単価)	尿素水の1リットル当たりの単価				
24	1回当たりの尿素水量(l:平均値)	尿素水を補給に必要な尿素水量				
25	尿素水を補給する走行距離(km:平均値)	尿素水を補給する目安となる平均走行距離				
26	尿素水を補給1回分の工賃(円:年間データ)	尿素水を補給するための1回当りの工賃				
27	尿素水フィルター等の交換工賃(円:平均値)	尿素水フィルター、交換工賃				
28	尿素水フィルター等の交換走行距離(km:平均値)	尿素水フィルター等を交換する目安となる走行距離				
29	車検整備費用(円:税抜の1回当りデータ)	車検のための平均的な整備費用(見込)				
30	車検有効期間(月数)	車検の有効期間				
31	一般修理費用(円:税抜の年間データ)	車検整備費以外の一般修理費用(1年間の修理費)				
32		記の修理費を要する走行距離(1年間の走行距離)				
33		両別に、運賃額を集計して入力				
34		両別に、稼働時間を集計して入力(休憩時間含む)				
35		両別に、走行距離を集計して入力(移動距離を含む)				
36		月利用した高速道路料金、または過去の平均値				
37		月利用したフェリー利用料金、または過去の平均値				
38		記以外の経費があれば、入力				
39		車距離×総走行距離				
40	実稼働時間率(%)	取引先都合で拘束されている時間÷総拘束時間				
41	1ℓ当たりの燃料(軽油、ガソリン、CNG)単価(円:税抜の平均)	軽油、ガソリン、CNGの各単価を車両ごと入力 全て軽油の場合は、全てに同じ単価を入力				

車両ごとに、入力します。
100両まで入力できます。

入力は一度のみ(途中変更があれば、当該月のシートにデータを改めて入力することが可能です(以降のシートにも変更した数字が反映されます))。

途中で車両を追加する場合は、当該月のシートに入力すれば、それ以降のシートに数字が反映されます。

廃車等で車両を使用しなくなる場合は、その翌月のシートの当該車両の数字をすべて削除します。

利用開始する月を問わず、
入力する最初のシートは
「1」と記されたシートです。

毎月更新するデータなので、同じ内容の場合でも、毎月入力する必要があります。

② 間接費等の条件設定シート（その2）

間接費等の条件設定シート（その2）では、車両に直接割り付けできない費用（間接費）の入力をします。運送事業全体の一年間の数字を入力します。

入力データは、運輸支局に毎年1回提出している「一般貨物自動車運送事業損益明細表」を用いて入力します。保有車両台数、売上高等の数字に変化がなければ、過去3年分のデータを平均して算出した数字を入力することもできます。

なお、任意保険、運送業総合保険について、車両個別に保険料が設定され、直接割り付けできる場合には、毎月更新するデータの「その他諸費用」に入力してください。

間接費等の条件設定シート(その2)		4月分
項目	入力上の留意点	金額
売上高(円、税抜の年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
備車分	備車分の売上高(円、税抜の年間データ)	
	備車分の支払運賃(円、税抜の年間データ)	
運転者人件費(円、年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力 (福利厚生費、法定福利費、退職金等を含める)	
一般管理費(円、税抜の年間データ)※2	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
施設使用料(円、税抜の年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
施設賦課税(円、税抜の年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
事故賠償費(円、税抜の年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
その他(円、税抜の年間データ)・・・備車費用を含める	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	
任意保険、運送業総合保険(年、年間データ)	未加入の場合は「0」を入力	
金融費用(営業外費用)(円、税抜の年間データ)	一般貨物自動車運送事業損益明細表から入力	

※2 一般管理費に各費用は、税込、税抜の費用が混在しています。消費税抜きの費用を概算で算出して入力してください

「1」シートに入力すると、次のシート以降は自動的に数字が反映されます。

※途中数字を変更する場合には、当該月のシートに再度入力すれば、次のシート以降は変更が反映されます。

③ 車両別 原価計算データ

条件設定シート（その1）、（その2）に入力すると、「車両別 原価計算データ」が自動計算されます。なお、データが入力されていない箇所があると「0」と表示されます。「0」になっている箇所については、計算式をご確認いただき、適切にデータが入力されているかご確認ください。

車両に直接割り付けできない一般管理費等は、「一般管理費」、「施設使用料、任意保険、金融費用等」に一括して計上されています。任意保険料、運送業総合保険等の保険料は、各車両に対して金額を直接割り付けできない場合もありますので、間接費の配賦で処理しています。

車両別 原価計算データ		月分	
車両番号		1	2
費 目		合計額	
車両費	減価償却費(円)	0	0
	自動車取得税(円)	0	0
	自動車税(円)	0	0
	自動車重量税(円)	0	0
	車両費の合計(円)	0	0
	自賠責保険(円)	0	0
運行費	燃料費(円)	0	0
	油脂費(円)	0	0
	尿素水費(円)	0	0
	修理費(円)		
	タイヤチューブ費(円)		
	運行費の合計		
	通行料(高速道路利用料他)(円)		
	運転者人件費(円)		
	一般管理費(円)		
	施設使用料、任意保険、金融費用等(円)	0	0
その他諸費(円)	0	0	
運送原価合計(円)		0	0
1ヵ月の運賃(円)		0	0
損益(円)		+0	+0
月間走行距離(km)		0 km	0 km
稼働時間(時間)		0 時間	0 時間
運賃の貢献度(%)		0.0%	0.0%
【名目】走行距離1km当たり変動費(高速道路・フェリー料金を除外)(円)		0.000	0.000
【名目】稼働1時間当たり固定費(円)		0.0	0.0
※別ファイルの取引先別原価計算、運行ルート別原価計算に以下データを入力してください。			
【実質】走行距離1km当たり変動費(高速道路・フェリー料金を除外)(実車率を反映)(円)		0.000	0.000
【実質】稼働1時間当たり固定費(実稼働時間率を反映)(円)		0.0	0.0

赤枠箇所は
自動計算されます

取引先別 原価計算シートと運行ルート別原価計算シートでは、
【実質】走行距離1km当たり変動費
【実質】稼働1時間当たり固定費
を活用します。

「名目」／「実質（実車率、実稼働時間率）」・・・使い方は次ページをご参照ください

【名目】と【実質】: 1km当たり変動費の利用目的

【名目】1km当たり
変動費

- 【活用】月極の原価管理等
- ・1km当たり変動費を調整しない
 - ・往復で原価計算する場合に活用
 - ・空車距離も原価計算する必要がある

【実質】1km当たり
変動費

- 【活用】見積、運行距離による原価管理等
- ・1km当たり変動費に空車分のコストを上乗せする
 - ・空車距離を考慮せずに、**実車距離のみで原価計算する場合に活用**
 - ・運賃・料金の見積の単価として活用
 - ・空車距離分は原価計算する必要がない

【名目】 1km当たり変動費

÷

実車率

=

【実質】 1km当たり変動費

【名目】と【実質】: 1時間当たり固定費の利用目的

【名目】1時間当たり
固定費

- ・1時間当たり固定費を調整しない
- ・往復で原価計算する場合に活用
- ・空車等も原価計算する場合に活用

【実質】1時間当たり
固定費

- ・【名目】1時間当たり固定費に空車時等の1時間当たり固定費によるコストを上乗せする
- ・空車等を考慮せずに、**実車等のみで原価計算する場合に活用**
- ・運賃・料金の見積単価として活用

【名目】 1時間当たり固定費

÷

実稼働時間率

=

【実質】 1時間当たり固定費

(2) 取引先別原価計算シート

取引先別原価計算では、取引先名、車両番号、車両ごとの運賃、走行距離及び稼働時間を入力して、1ヵ月分の原価計算を行います。

1台の車両を複数の取引先に対して、運送を提供している場合、取引先別に走行距離、稼働時間をそれぞれ入力します。車両単位での全体の走行距離と稼働時間に一致するように配分して入力してください。

走行距離1km当たり変動費、稼働1時間当たり固定費は、車両別原価計算データの一番下にあるデータを入力してください。入力するのは次のデータです。

走行距離1km当たり変動費：【実質】走行距離1km当たり変動費
 稼働1時間当たり固定費：【実質】稼働1時間当たり固定費

これらのデータは、2つのエクセルシートでリンクがなされていません。

高速道路利用料等の「諸費用」は、取引先別原価計算シートにある「当該荷主との運送状況(入力)」にある「諸費用」に1ヵ月分のデータを車両別に入力してください。

取引先別 原価計算シート									
※ このシートは月単位の原価計算であるため、走行距離、稼働時間、運賃、諸経費は1ヵ月分の実績値を入力してください									
取引先名	車両番号	当該荷主との運送状況(入力)				車両別データ(入力)		計算結果	
		運賃	走行距離	稼働時間	諸経費	1km当たり変動費	1時間当たり固定費	運送原価	収支
合計		0円	0.00km	0.00時間	0円				0

荷主名と車両番号を入力します。

運賃、走行距離、稼働時間、諸経費を入力します

車両別原価計算シートの一番下にある「【実質】走行距離1km当たり変動費(実車率を反映)」及び「【実質】稼働1時間当たり固定費(実稼働時間率を反映)」を入力します。リンクしていないので、手入力してください。

この箇所は自動計算されます

- 備考
- 入力箇所です。それ以外のセルには入力しないでください。
 - ※ シートに保護をかけておりませんので、上記以外に入力しますと、計算式が消失されることがあります。
 - ※ 走行距離は、荷主別に何キロ走行したかを入力してください。
 - ※ 運賃は、車両別に荷主ごとの収受した運賃を入力してください。
 - 自動計算箇所のため、入力不要です。

(3) 運行ルート別原価計算シート

運行ルート別原価計算シートは、運行ルートごとの平均所要時間と平均走行距離を入力して、1運行当たりの平均的な原価計算をするものです。

このシートは、車両別原価計算データから【実質】走行距離1km当たり変動費、【実質】稼働1時間当たり固定費を使って計算します。変動費、固定費の範囲は、車両別原価計算データから反映していますが、各事業者の経営実態等により若干の差がありますので、どのような数字を採用するか十分に検討してください。

運行ルート別 原価計算シート

(車単位、貸切の場合)

作成日		
メモ		
最大積載量	<input type="text"/>	必要事項を入力します(任意項目)
車両の形状	<input type="text"/>	
運行区間	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
○ 固定費		
平均 所要時間①	<input type="text"/> 時間	休憩時間を含めて、所要時間を算出
稼働1時間当たり固定費②	<input type="text"/> 円	車両別原価計算データの下段の「【実質】稼働1時間当たり固定費(実稼働時間率を反映)」から数字を転記
a 固定費(①×②)	<input type="text"/> 0	
○ 変動費		
平均 走行距離③	<input type="text"/> キロメートル	
走行距離1km当たり変動費④	<input type="text"/> 円	車両別原価計算データの下段の「【実質】走行距離1km当たり変動費(実車率を反映)」から数字を転記
b 変動費(③×④)	<input type="text"/> 0	
○ 諸経費		
高速道路利用料金、フェリー利用料金⑤	<input type="text"/> 円	高速道路、フェリーに利用料金、諸経費がある場合には、記入してください
その他諸費用⑥	<input type="text"/> 円	
c 諸費用 小計(⑤+⑥)	<input type="text"/> 0	
○ 運行ルート別原価		
d 合計 (a+b+c)	<input type="text"/> 0 円	自動計算されます
○ 損益計算		
e 現在收受している運賃額	<input type="text"/> 円	
f 損益額(e-d)	<input type="text"/> +0 円	
備考	<input type="text"/> 必ず入力してください <input type="text"/> 入力してください <input type="text"/> 入力不要	

5. 原価計算シートの活用方法

この原価計算シートは、各事業者の運行特性、契約特性、経営特性等を踏まえ、事業者の皆様が原価計算シートを必要に応じて修正してご活用していただくことを前提に提供させていただくものです。市販ソフトにあるような自社の特徴に応じて「修正できない」という欠点がないものの、完成度が高い計算ソフトにはなっておりませんので、ご留意ください。

原価計算シートのご活用にあたりましては、計算式の各セルをご確認いただき、必要に応じてセルにある「計算式」を修正してご活用ください。

皆様の利用ニーズに応じて、原価計算シートを自由に修正し、自社の経営特性に即した原価計算シートを作り上げていただけますと幸甚でございます。

○ 原価計算シートに関するお問い合わせ窓口

原価計算シートについてのお問い合わせ、利用方法等につきましては、以下の担当までお願い申し上げます。

原価計算シート、利用要領に関する内容、計算式、入力データ等についてのご質問

日本PMIコンサルティング株式会社

原価計算 担当 小坂まで

電 話：03-3556-6180（直通）

ファックス：03-3556-6265

電子メール：m.kosaka@pmic.co.jp

原価計算シート、利用要領の趣旨についてのご質問

公益社団法人 全日本トラック協会

経営改善事業部

電 話：03-3354-1056

ファックス：03-3354-1019

「トラック運送業における原価計算シート利用要領」

平成24年12月 初版

平成25年 5月 改訂

平成26年 5月 改訂

平成29年 3月 改訂